

7 官行造林の立木被害

年 森 林 管 理 署	総 数				風 水 害				雪 害			
	面積	数 量	被害額	損害額	面積	数 量	被害額	損害額	面積	数 量	被害額	損害額
平成 22 年度	0	0 千本 28	3	(2) 2	0	0 千本 28	3	(2) 2	-	-	-	-
平成 23 年度	10	115 千本 3,396	17,919	(8,573) 9,346	10	115 千本 3,396	17,919	(8,573) 9,346	-	-	-	-
平成 24 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 25 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 26 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島北部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(京都大阪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(奈良)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(山口)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1 本表は、国有林野立木被害報告により作成した。

2 被害額は被害時における被害前の状態での見積価格、損害額は被害額から残存価格を差し引いたものである。

3 分収造林については、数量及び被害額は全量を掲上し、損害額は民収分を()外書きた。

4 面積は、被害木が点々と孤立散在している場合は樹冠の占有面積、密集している場合は区域面積、火災の場合は区域の全面積を掲上した。

5 火災のうち、立木被害のないものは含まない。

6 数量のうち、材積により掲上することが困難なものは、本数により掲上した。

